

## 鳥取市景観形成審議会におけるご意見への対応

観光・ジオパーク推進課

### ① 表示面積について

新デザインについては、既存広告塔の表示面と同じく、表示面の両端各 17cm のコーナーの保護部材部分を残す必要があることから表示面の幅が 2.3m となり、別紙①の立面図のとおり表示面の高さを 13m とすることにより表示面積が 29.9 m<sup>2</sup>となる。(下部 27cm は余白)

これにより、鳥取市屋外広告物条例の野立て広告物の表示許可基準である 30 m<sup>2</sup>以下の基準を満たす。

委員より意見のあった、既存広告塔の上端から表示する事で視認性も現状どおり確保できると考える。

### ② デザインについて

砂丘へ来られる観光客のルートとして、鳥取道、山陰道を使い西方向から覚寺交差点へ向かうルートと、市街地から砂丘へ訪れるルートが多数と思われる。

砂丘への誘導としては、現状の位置が最適と考え、別図の位置からの視認性を確保するため文字、デザインを再検討した。

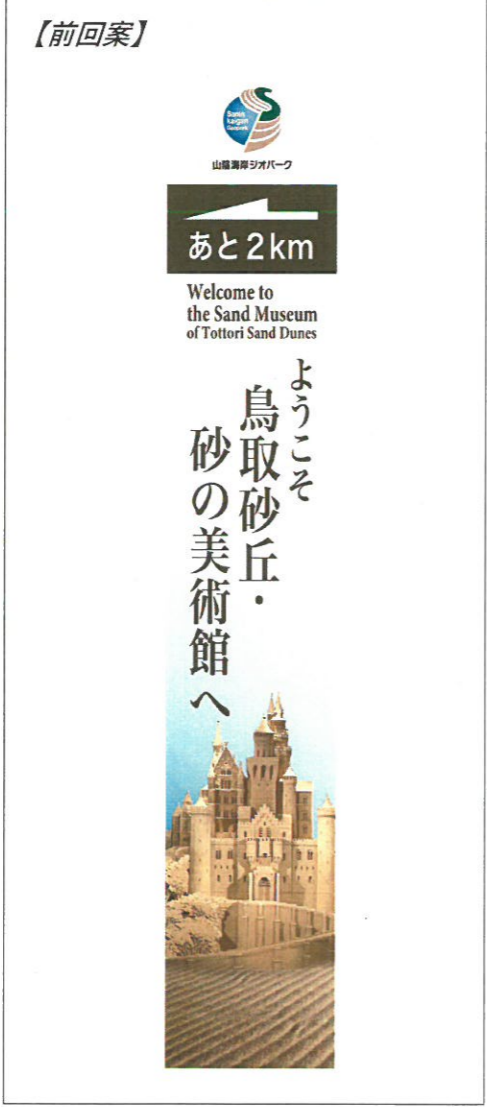
：文字のデザインに関しては、日本語表記の「ようこそ」と「へ」を除き、「鳥取砂丘・砂の美術館」の文字サイズを大きくし、より広範囲から看板の効果を十分に発揮できるよう検討した。(別紙①参照)

：本看板の目的は、平成 31 年 2 月にユネスコ世界ジオパークに再認定された「山陰海岸ジオパーク」の代表スポットである鳥取砂丘と砂の美術館を PR するものであるため、ジオパークのロゴ及び鳥取砂丘、砂の美術館のデザインは必要不可欠である。

【別紙①】

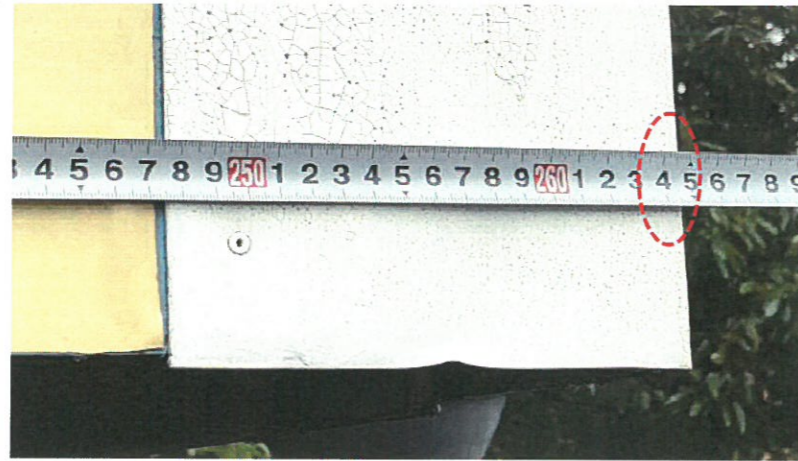


【表示面積】  
 $2,300\text{mm} \times 13,000\text{mm} = 29,900,000\text{ m m}^2$   
 $\doteq 29.9\text{ m}^2$

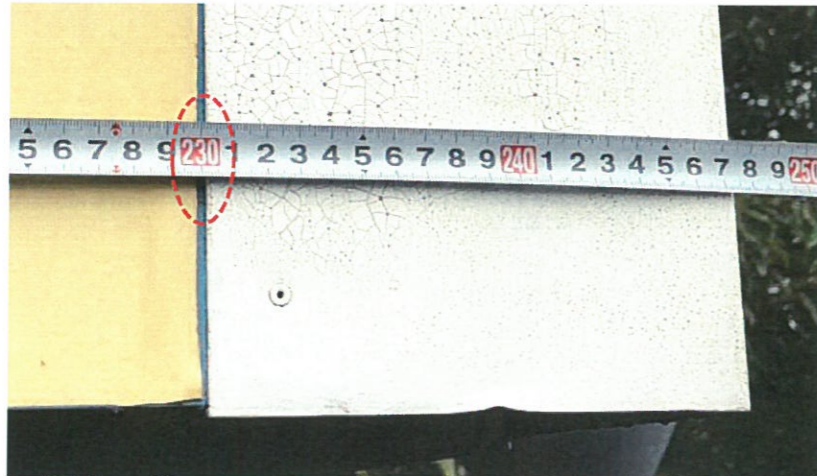




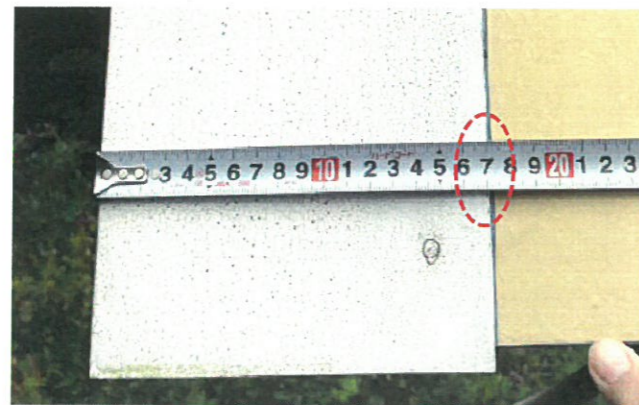
① 全長(横) 2,640mm



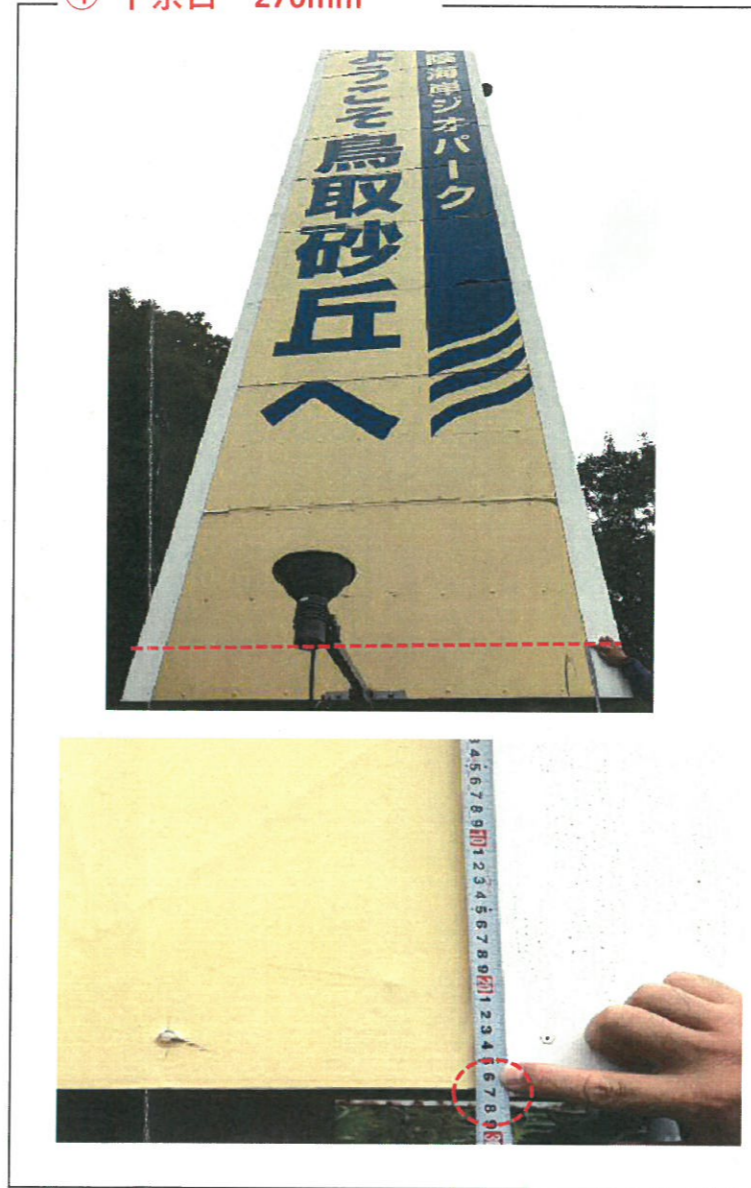
② デザイン面(横) 2,300mm



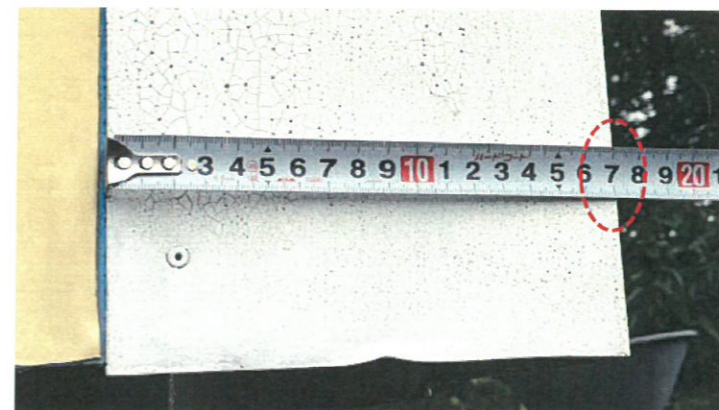
③ 左端余白 170mm



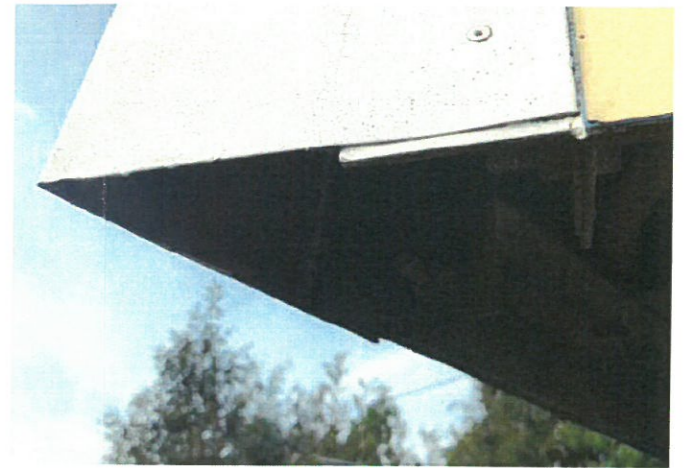
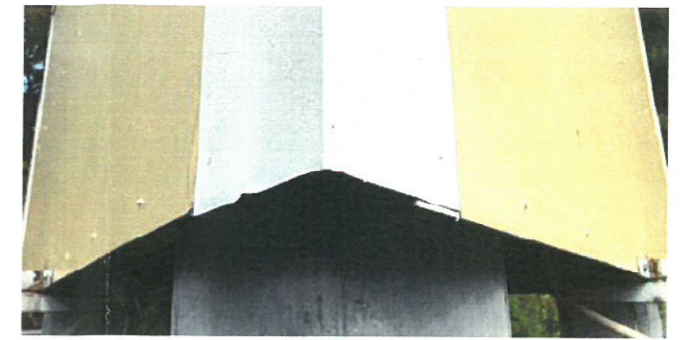
④ 下余白 270mm



③ 右端余白 170mm



⑤ デザイン面結合箇所



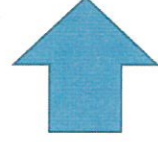
覺寺看板塔 各現場写真



1

1

現在



新デザイン



2

現在



新デザイン

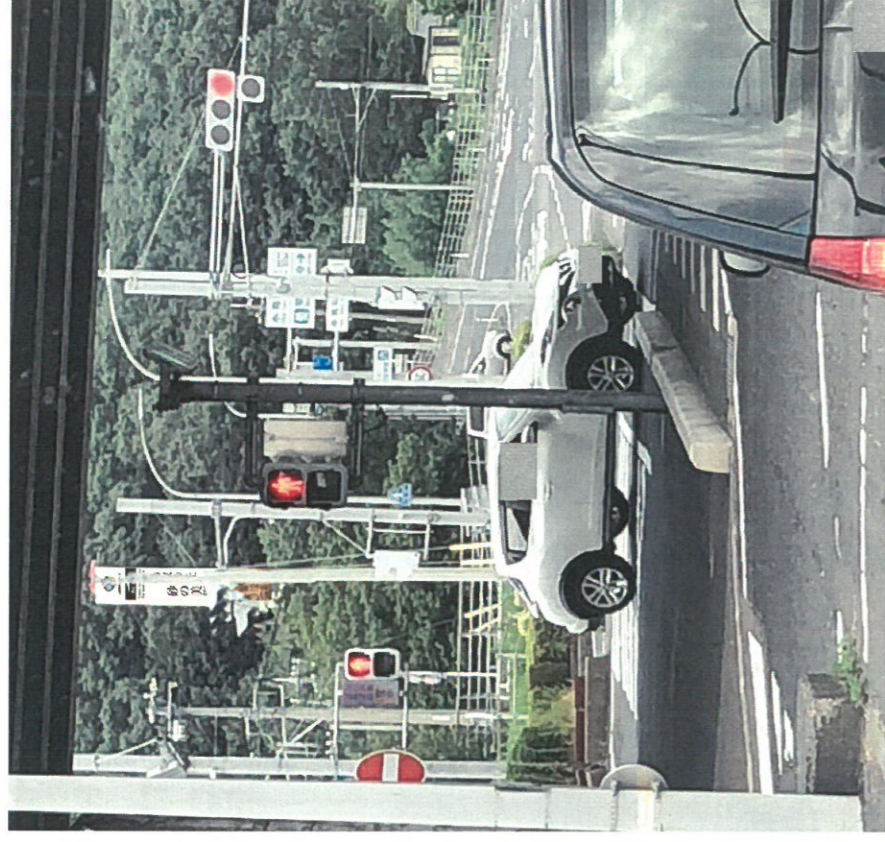


3

現在



新デザイン





4

現在



新デザイン



5

現在

新デザイン

